

(別紙)

# 評価報告書

## 記

建築物名： 山陽小野田市役所 本館

所在地： 山口県山陽小野田市日の出一丁目1番1号

構造・規模： 鉄筋コンクリート造 3階建 塔屋 2階

延床面積： 5402㎡

診断基準： 既存RC造建築物の耐震診断規準（建防協）

第2次診断

診断者： （所属）株式会社 藤田建築設計事務所 （診断者名） ██████████

診断結果	現状				改修後			
	方向	階	$C_{TV} \cdot S_D$	$I_s$	方向	階	$C_{TV} \cdot S_D$	$I_s$
	X	PH (4階)	1.47	1.32	X			
		3	0.72	0.64				
		2	0.60	0.54				
		1	0.42	0.37				
	Y	PH (4階)	0.67	0.60	Y			
		3	0.54	0.48				
		2	0.34	0.31				
		1	0.51	0.45				
耐震性能の解説	現状				改修後			
	<p>X方向はPH1階以外の階で、Y方向はすべての階で<math>I_s</math>の判定値を満たしていない。</p> <p>上記<math>I_s</math>値による<math>C_{TV} \cdot S_D</math>についてはY方向2階で判定値を満たしていない。</p> <p><math>I_s</math>値を決定しているF値では第2種構造要素となる柱は存在しない。</p> <p>下階壁抜け柱で補強が必要となる柱が存在する。</p> <p>別途検討したPHは、X方向PH2階をのぞき耐震性能を満たしていない。</p> <p>片持ちスラブの地震時の上下動を考慮し検討した結果、補強が必要となる部材がある。</p>							

$$\text{判定値 } C_{TV} \cdot S_D \geq 0.36 = 0.3 \times 0.8 \times 1.5$$

$$I_s \geq 0.72 = 0.6 \times 0.8 \times 1.5$$

3 市民館（文化ホール・体育ホール）の耐震診断結果について

文化ホール							
X方向	Is 値	q 値	判定	Y方向	Is 値	q 値	判定
目標値	0.60	1.00		目標値	0.60	1.00	
4階	1.10	4.13	両方満足	4階	1.73	6.50	両方満足
3階	1.18	4.46	両方満足	3階	0.09	0.10	両方不足
2階	0.81	3.06	両方満足	2階	0.09	0.10	両方不足
1階	0.42	1.60	Is 値が不足	1階	0.09	0.10	両方不足
【判定】 「大地震時に崩壊する危険性が高い」となり、耐震補強が必要であると判断する。							

体育ホール							
X方向	Is 値	q 値	判定	Y方向	Is 値	q 値	判定
目標値	0.60	1.00		目標値	0.60	1.00	
R階	0.08	0.44	両方不足	R階	0.07	0.37	両方不足
2階	0.16	0.40	両方不足	2階	0.20	0.62	両方不足
1階	0.38	0.56	両方不足	1階	0.97	4.62	両方満足
【判定】 「大地震時に崩壊する危険性が高い」となり、耐震補強が必要であると判断する。							

文化ホール、体育ホールとも耐震強度を有しておらず、耐震補強が必要である。